

第61回

会社訪問

株式会社シマケン

会社プロフィール

代表者：代表取締役社長 貝塚勝也

所在地：〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-15-8 MAS三田ビル7階

TEL：03-3863-5380 FAX：03-3863-5387

設立：1982年8月10日

資本金：2,000万円

従業員：14名

営業所：埼玉営業所

事業内容：分析機器、試験検査機器、教育用理科学機器、
医用機器、産業機器、電子・電気計測機器の販売URL：<http://www.shimaken.co.jp>

(株)シマケン 代表取締役 貝塚勝也 氏へのインタビュー

聞き手：山口美奈子（広報委員） 蔵満邦弘（事務局長）

（取材・編集協力：クリエイティブ・レイ(株) 安井久雄）

“強い営業力”を活かし大学・公官庁を中心に科学機器を販売！

— 御社のホームページには「教育から先端研究まで私達は日本の教育/研究に貢献する科学会社です」とありますが、初めに事業の概要をお聞かせいただけますか。

当社は島津製作所をはじめとする国内外各社の機器を扱っており、大学、官公庁、病院、民間企業の試験研究部門などを中心に製品をお届けしております。現在のところ扱っている製品の割合は、分析機器が6割、理化学機器が4割ほどです。

— 御社は島津製作所やフォトロン等の販売代理店となっておりますが、特に扱いの多い製品などはあるのでしょうか。

島津製作所の製品としてはガスクロマトグラフ（GCMSを含む）や液体クロマトグラフ（LCMSを含む）関係に、分光光度計などを多く扱っています。これらに加えて、ここ数年はアメリカのFEI社の電子顕微鏡や、フォトロン社の高速度カメラなどの販売も増えています。中でも、世界的に評価が高いFEI社の透過型や走査型の電子顕微鏡は、当社の売上にも大きく貢献してくれました。



複雑なマトリックス中の微量分析において、超高速に対応、簡単操作で長時間測定の高信頼性もキープできる次世代型の四重極型LC/MS/MSシステムです。

島津高速液体クロマトグラフ質量分析計
LCMS-8030

— 商社として力を入れていることや大切にしていることは、どんなことでしょうか。

強い営業、質の高い営業を行うということでしょうか。大学をはじめ私たちのお客さまは、製品にも営業にも高いレベルを求めます。さらに現代はインターネットで世界中の製品の情報が手に入る時代となり、国産が主流だった以前のマーケットとは様相が大きく変化しています。

そのため生半可な商品知識では営業できませんし、当社で扱っている製品だけでなく、それと競合する国内外の他の製品についてもきちんと理解した上で対応しなければ、お客さまを満足させることはできません。こうした営業は大変ですが、それを乗り越え、お客さまと気持ちが通じ合えたときの喜びは非常に大きいものです。若い社員などに対しては、そういう話をしています。

— 経営方針として、現在、力を入れていることがあれば、お聞かせいただけますか。

島津製作所やその関連企業の製品は当社の大きな柱ですが、それらを販売している中で、お客さまからはそのほかにもいろいろな製品が欲しいという要望が出てくるようになりました。そうした多様なニーズに応えるためにも、取り扱う製品をさらに充実させていきたいと思っていますところですが。

また当社には東京本社のほか、さいたま市に営業所があり、埼玉方面にも営業を広げていくとともに、これまで主にお付き合いしていた大学や官公庁だけでなく、民間企業との取引にも力を入れていこうと考えています。

— 貝塚社長は、以前は島津製作所におられたということですが？

私はずっと島津製作所とその関連会社におりましたが、60歳のとき、この会社から声がかかり、こちらで働くことになりました。そもそも当社は、島津製作所で官公庁を担当していた部門の人たちが中心となり、設立したということですが。

— 島津製作所から移られ、特にお感じになったことはございますか。

大きな会社とは異なり、少人数の会社には少人数なりのやり方があるということは強く感じました。そうした考えもあり、私が代表取締役となって迎えた2007年の創業25周年の筋目の年には、人事面の刷新を図ることにしました。

その1つとして、若い人を採用し営業を強化することにしました。この仕事は営業センスが問われますが、そのセンスを見るために効果があったのが、採用のとき、私なりに考えた論文試験を課したことです。面接試験ではとてもうまく受け答えをする人がいたりしますが、それだけでは意外に営業センスは分からないものです。これに対し、最終的に残った人に論文試験を出すと、論文の善し悪しがはっきりと出ます。そうしたことを経営コンサルタントに話をすると、とてもいいアイデアだと言われたこともあります。これにより良い人材が採用できるようになりました。

— 話題は変わりますが、ご趣味は？

好きなことはゴルフでしょうか。仕事の関係で単身赴任をしていた時期が長いのですが、昔はカメラを持って花や鳥の写真を撮り歩いたり、札幌にいたときなどはよく磯釣りへ出かけたりしていました。しかし、東京に戻ってきてからは釣りへ行くことも少なくなり、そこで始めたのがゴルフです。また、近ごろはデジタルカメラで撮影した写真をパソコンで編集したりして楽しんでいます。

— 科学機器協会に対して、ご要望やご意見などありましたら、お願いいたします。

このたび協会に加入させていただきましたが、今後、取り扱う製品を増やしていくためにも、協会主催の懇親会などを通して、分析機器の業界の方とのお付き合いを深めていきたいと考えております。

また、協会主催の講習会などは、メーカー主催の講習会とは違う視点があり、とてもよい勉強になります。これからも各種の催しに積極的に参加し、様々な方々との交流を深めていきたいと思っています。